

大阪行政相談委員協議会機関誌

あし

令和元年9月

第34号



'19 9

CONTENTS

〔巻頭言〕	子どもを真ん中においた市政の推進	門真市長・宮本 一孝	2
〔寄稿〕	「地域力強化」と行政相談	近畿管区行政評価局長・水上 保	3
〔令和元年度行政相談委員全体会議から〕		近畿管区行政評価局行政相談課	4
〔寄稿〕	北ノ庄、越前そして福井の行政相談	福井地相協（福井市）・村尾 敬治	6
〔委員活動報告から〕	行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例	貝塚市・龍神 和夫、大阪市旭区・五島 常武	7
	大阪市福島区・三木 一誠、大阪狭山市・池田 久雄、堺市西区・富田 久子、貝塚市・今井 藤子		8
〔自己紹介〕	新任委員さんこんにちは!!（平成30年5月2日から令和元年6月1日までの委嘱委員）		9
	大阪第1支部：臼井美耶子（大阪市都島区）、平野 雄三（大阪市此花区）、三輪 淳三（大阪市中央区）		
	樋口 浩一（大阪市東淀川区）、石田 和美（大阪市東成区）、中田 徹（大阪市鶴見区）		
	大阪第2支部：坂本 安敏（大阪市浪速区）、宮川 成雄（大阪市住吉区）、瀧川 愛子（大阪市平野区）		
	北摂支部：渡瀬 正幸（能勢町）、原 さつき（吹田市）、加島 早織（茨木市）		
	河内第1支部：笠原 政芳（大東市）		
	河内第2支部：川崎 睦子（東大阪市）、玉宅 英子（富田林市）、坪本 直子（河内長野市）、奥野 佳秀（羽曳野市）		
	小林 周二（羽曳野市）、萩原 宣志（羽曳野市）、西山 祐子（大阪狭山市）		
	泉州支部：塩尻 春夫（堺市西区）、西野 房男（堺市北区）、田中五都子（堺市美原区）		
	森口 勝巳（泉大津市）、谷山 俊夫（阪南市）		
〔地相協研修会〕	「大阪ガス泉北製造所第二工場の見学に参加して」	編集委員・阿部多美江	11
〔各委員会からの活動報告〕			
	研修委員会の活動について	研修委員長・掛川 文子	12
	編集委員会の活動について	編集委員会副委員長・松浦 隆行	12
	相談業務委員会の活動について	相談業務委員会副委員長・足立 義昭	13
	広報委員会の活動について	広報委員長・羽田 清彦	13
	ホームページ運営委員会の活動について	ホームページ運営委員長・三田 和夫	14
	男女共同参画委員会の活動について	男女共同参画委員長・岩井 利春	14
〔自主研修会〕			
	大阪第1支部	大阪市城東区・米田 道孝	15
	大阪第2支部	大阪市浪速区・樫原 實男	15
	北摂支部	摂津市・中谷 久夫	16
	河内第1支部	四條畷市・川西 勝久	16
	河内第2支部	東大阪市・加茂 守一	17
	泉州支部	高石市・吉田 幸代	17
		（大阪第1支部）・谷口 裕洋	18
		（大阪第2支部）・山下 保一	18
		（北摂支部）・前川 順子	19
		（河内第1支部）・楠 好子	19
		（河内第2支部）・仲谷 徳雄	20
		（泉州支部）・川上 博	20
特集	私の平成		
ショート・ショート	寺本佳世子（大阪市東淀川区）、水口 博司（大阪市浪速区）、掛川 文子（高槻市）		
〔最近、観た映画〕	角 咲子（門真市）、藤田 毅（松原市）、竹中 千世（阪南市）		21
〔大阪あれこれ〕（第四回）	上方のお笑い―天満天神繁昌亭―	編集委員・藤本 道昭	22
〔私の住む町〕	〈MY TOWN 茨木市〉	茨木市・村田 茂	23
編集後記			24

▶〔題字〕

總本山四天王寺

出口常順 元管長 揮毫

▶〔表紙写真〕天津橋

写真は枚方の「七夕伝説」にゆかりのある、天野川に架かる天津橋です。現在の橋は平成4年に架けられた2代目で、中央の踊り場にはカササギがデザインされたレリーフがあり、夜は彦星と織姫のイルミネーションが姿を現します。平成30年にはハート型の入り口が印象的な「しあわせのモニュメント」が市民の皆様からの寄附により設置されました。

写真と文：枚方市市長公室広聴相談課

巻頭言



子どもを真ん中においた市政の推進

門真市長 宮本 一 孝

大阪行政相談委員協議会の皆様には、平素から門真市政の各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年5月から新元号が「令和」となり、我が国は新たな時代の幕開けを迎えました。平成の時代を振り返りますと、インターネットやSNSの急速な普及等により、社会情勢が大きく変化するとともに、個々人の価値観や考えが多様化してきており、行政に寄せられる市民ニーズも、また同じく多様化しています。

こうした状況下において、行政相談委員の皆様におかれましては、行政相談制度を通じ、国民から広く、行政に対する意見や苦情等を聞く機会を設けられ、積極的に取り組んでいただいております。そのご尽力に対しまして、心から敬意を表します。

さて、近年、我が国においては、急激な人口減少、あるいは、いわゆる「団塊の世代」の方々が一挙に後期高齢者となられることにより、社会保障費の急増等が懸念されている「2025年問題」に対し、どのように対応していくかが、大きな課題として指摘されています。

このような中、我々、基礎自治体といたしましても、バランスの取れた人口の年齢構成を実現し、人口増につなげるべく、現在、本市内に住まわれている子育て世代の転出を抑制するとともに、新たな転入を促進することが、非常に重要であると考えています。

ところが、近年、児童虐待やネグレクト等といった事案が、大きな社会問題として、顕在化

してきていることから、市民と市役所が一丸となり、地域の子どもを見守る体制を整える必要があります。

このため、本市の地域の魅力である、人の活気と力強さ、古き良き人情味あふれる特性と地域力を活かし、支援が必要な子どもに寄り添う「子どもの未来応援ネットワーク事業（平成29年10月～）」を展開しているところであり、地域の子どもを見守っていただくボランティアの応援団員について、現在1,100人を超える方々にご登録いただく等、もとより、子どもを真ん中においた施策を進めることにより、子どもの貧困対策に努めています。

また、子育て世代への重点支援として、5歳児、4歳児及び3歳児の幼児教育・保育・療育の無償化をはじめ、待機児童解消に向けた保育定員の拡充や保育士確保も同時に進めるとともに、放課後児童クラブの時間延長に取り組む等、子育て支援の施策に積極的に投資し、事業の展開を図っています。

今後におきましても、子育て支援の施策に注力しつつ、市民の皆様が、わがまち門真に誇りと愛着を持ち、住み続けたいと選んでいただけるまちとなるよう、あらゆる施策において、市民の皆様と手を携えながら、市政を進めていきたいと考えていますので、行政相談委員の皆様からの一層のご支援を、お願い申し上げます。

結びとなりましたが、大阪行政相談委員協議会の今後のますますのご発展と、委員皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



「地域力強化」と行政相談

近畿管区行政評価局長 水上 保

※水上局長は、令和元年7月5日付けで関東管区行政評価局長に異動されました。

大阪府内の行政相談委員の皆様には、日頃から地域住民と行政との架け橋として、行政相談活動や広報活動にご尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。とくに、昨年度は、行政相談の件数が増加に転じ、大阪府内では、前年度に比べ全体で6.4%の増加、行政相談委員の皆様の取扱い件数が13.5%増加となっていますが、これも委員の皆様にご努力いただいた成果であり、敬意を表する次第であります。

先般、令和の時代に入って最初の行政相談委員全体会議が開催されたところですが、その際の総務大臣のメッセージの中に、総務省が「持続可能な地域社会」の実現を目指して様々な施策に取り組んでいる旨の言葉がありました。この取組、とくに情報通信技術や人工知能などの革新的な技術を利用し地域力を強化していく施策は、石田大臣が先頭に立って、昨年12月に「地域力強化プラン」を策定し、総務省全体で取り組んでいるものであり、行政相談に関係する面もありますので、この場で少し説明したいと思います。

この施策の背景には、今日東京一極集中が進む中で、地方が疲弊していること、一方では、若者の意識に地方移住など「生活環境を変えたい」という変化が見られてきたことがあります。若者の意識の変化を地域の担い手の確保に生かしつつ、革新的な技術を利用して地域を大きく変えていこうというのが、施策の目的です。

では、地域をどのように変えていくのでしょうか。総務大臣は、施策推進に当たって発出したメッセージの中で、「日本のどこからでも世界とつながって仕事ができ、また日本のどこからでも教育や医療など必要な生活支援サービス

を利用できる社会が実現しようとしています」と述べています。地域力強化プランに挙げられているイメージの例を紹介してみますと、例えば、農業について、トラクターの自動運転やドローンを活用した森林資源の管理によって省力化した姿が示されています。観光の面では、すでに多数の言葉を聞き取り翻訳する多言語音声翻訳機が実用化されていますが、その進化・普及により、外国人に対する接遇が誰でも容易にできるようになります。5Gといわれる高速度の通信の発達により、遠隔地のサテライトオフィスに勤務していても、高質な映像や音声スムーズに送信できるようになる、医療の分野では、画像診断によって先端的な医療が受けられる、といった例が取り上げられています。地方という距離のハンデが情報通信技術によって克服され、自然や生活のしやすさというメリットを享受できるようになるわけです。

総務省は、現在、先進的な地方公共団体で実施され始めている事例をホームページや首長へのメール等で紹介し、この動きを広めていこうとしているところです。

こういった技術の進歩は、行政相談とも無縁なものではありません。本年の行政相談重点方針では、多言語翻訳機器を用いた外国人の相談への対応を盛り込んでいますし、離島などで動画の送受信を用いた相談受付を実施した例も出てきています。今後とも、新しい技術を利用しつつ、多くの方が行政相談を受けられる機会が作られるよう、委員の皆様と私どもが一緒になって、取り組んでいくことが重要であると考えています。引き続き皆様の行政相談へのご協力をお願い申し上げます。

令和元年度行政相談委員全体会議から

～平成30年度行政相談実績などを説明～

令和元年度行政相談委員全体会議（以下「全体会議」という。）及び大阪行政相談委員協議会（以下「地相協」という。）総会が、去る5月17日（金）、ホテルアウリーナ大阪（大阪市）において開催されました。

はじめに、石田真敏総務大臣からの委員の皆様へのメッセージ代読が行われ、その後、水上保近畿管区行政評価局長の挨拶がありました。

次に、来賓の吉村洋文大阪府知事、松井一郎大阪市長、柴信堺市市長公室長、松本昌親大阪府町村長会会長（千早赤阪村長）の方々からの御祝辞をいただきました。

引き続き、行政相談に功労のあった委員に対して、近畿管区行政評価局長、全国行政相談委員連合協議会会長及び近畿行政相談委員連合協議会会長からの表彰状・感謝状が贈呈されました。

また、平成30年秋の栄典受章者等の披露が行われました。

受章された委員等は次のとおりです。

◎叙勲

〔平成30年秋〕

松倉 正能 委員（八尾市）
瑞宝小綬章（消防功労）

◎平成30年度総務大臣表彰（5名）

五島 常武 委員（大阪市旭区）
諏訪 孝子 委員（吹田市）
石田美代子 委員（東大阪市）
白木順一郎 委員（八尾市）
池内 啓二 委員（和泉市）

◎桜を見る会（平成31年4月13日）

小川 善雄 委員（門真市）

◎令和元年度近畿管区行政評価局長表彰（7名）

深谷 巖 委員（大阪市大正区）
藤本 道昭 委員（大阪市平野区）
高岡 理恵 委員（島本町）
讃岐 信子 委員（守口市）
大西 健造 委員（八尾市）
高萩 佳由 委員（柏原市）
大野 浩 委員（泉佐野市）

◎令和元年度近畿管区行政評価局長感謝状（13名）

田中 文雄 委員（大阪市西淀川区）
谷口 裕洋 委員（大阪市東成区）
米田 道孝 委員（大阪市城東区）
水口 博司 委員（大阪市浪速区）



市川 利通 委員（大阪市東住吉区）
 森村 保 委員（能勢町）
 乾 利昭 委員（豊能町）
 野村 耕造 委員（大東市）
 中浜多美江 委員（八尾市）
 中川 昌之 委員（堺市堺区）
 畑中 一巳 委員（堺市中区）
 川上 博 委員（泉大津市）
 辻野 収 委員（和泉市）

◎令和元年度全国行政相談委員連合協議会
 会長表彰（3名）

吉本 忠嗣 委員（高槻市）
 向井 博子 委員（大東市）
 川西 勝久 委員（四條畷市）

◎令和元年度近畿行政相談委員連合協議会
 会長表彰（6名）

市山 博重 委員（大阪市西淀川区）
 杉木 浩子 委員（東大阪市）
 森田 明彦 委員（東大阪市）
 砂田八壽子 委員（柏原市）
 村井みさ子 委員（太子町）
 辻谷 俊吉 委員（泉南市）

表彰等において、行政相談課長から平成30年度の行政相談業務実績及び令和元年度の行政相談業務計画、行政相談重点方針などについて説明を行いました。

地相協令和元年度総会
 事業計画・予算案など審議

全体会議終了後、地相協の総会が開催されました。諏訪理事の司会・進行の下、白國会長の挨拶があり、石川委員が議長に選ばれ、まず平成30年度事業報告及び収支決算報告、監査結果報告の説明・審議後、承認されました。次に第1回理事会における役員改選結果が報告され、会長には引き続き白國哲司大阪第一支部長が就任、新体制において、令和元年度事業計画案及び収支予算案について説明、審議が行われ、いずれも原案どおり可決、承認されました。

令和元年度新役員体制

役職名	氏名	役職名	氏名
会 長	白 國 哲 司	副 会 長	山 本 文 雄
副 会 長	春 元 靖 弘	副 会 長	高 木 正 彬
副 会 長 総 務 局 長	明 智 英 彦	副 会 長	白 木 順 一 郎
副 会 長	南 淳 子	理 会 計 理 事	河 野 順 子
理 事	富 田 準	理 事	大 草 亘
理 事	藤 本 正 人	理 事	櫻 町 君 枝
理 事	若 山 洋	理 事	諏 訪 孝 子
理 事	尾 崎 勉	理 事	川 西 勝 久
理 事	葛 本 徹 雄	理 事	加 茂 守 一
理 事	高 萩 佳 由	理 事	柴 田 惇 子
理 事	山 村 武 子	理 事	松 本 啓 子
研修委員会	掛 川 文 子	編集委員会	矢 倉 芳 彦
相 談 業 務 委 員 会	土 原 直 美	広報委員会	羽 田 清 彦
男女共同参画 委 員 会	岩 井 利 春	ホームページ 運 営 委 員 会	三 田 和 夫
監 事	平 安 弐 作	監 事	吉 田 良 平

（敬称略）

※令和元年5月21日付けをもって、春の叙勲が発令され、柴田惇子委員（堺市北区）、吉田幸代委員（高石市）に瑞宝双光章（行政相談功労）が授与されました。





北ノ庄、越前そして福井の行政相談

福井地相協理事 村尾 敬治（福井市）

福井市は福井県の北部に位置し、九頭竜川、足羽川、日野川の三大河川の扇状地である福井平野に発展してきました。

現在の中心部は、室町・戦国時代には「北ノ庄」とよばれ、まちづくりは柴田勝家の北ノ庄城築城が始まりと言われています。

徳川家康の天下平定後は、その次男である結城秀康が六十八万石の城主となり、地名も北ノ庄から福居となり、三代藩主忠昌のときに「福井」に改められました。

市制の施行は、明治22年で、その後鉄道開通や織物産業の興隆によって、福井県における中心都市として近隣町村との合併を経ながら発展を続け、平成31年4月には中核市に移行し、26万人都市の県都として現在に至っています。

そして、福井と言えば越前、越前と言えば古代における継体天皇から幕末の松平春嶽公、橋本左内など幾多の人材を輩出し、歴史の転換期には、その活躍がよく知られているところです。

また、越前には、「東尋坊」、「永平寺」、「平泉寺」、「あわら温泉」など数多くの名所や観光地があり、もちろん、越前は「うまいもん」の宝庫、きれいで美味しい水に育まれた「コシヒカリ」、「越前地酒」、「越前おろしそば」、「越前ガニ」など、全国的にも『これはうまい』と評価いただいている食があります。

まさに「歴史と観光そしてうまいもん」のエリアとして、知る人ぞ知る越前には是非ともおいでいただき、「学習、見聞、食」を堪能して欲しいと願うものです。

わがまちの自慢はこれまでにして、私の行政相談は平成25年度から福井市内の大型ショッピングセンター内で毎月一回開催しており、「買い物途中」や「公共施設とは異なった雰囲気」

を希望する市民の方々の相談の機会となっています。

相談内容は様々であり、老若男女の方々から行政に関するものはもちろん、その枠を超え、今日の社会の憂いや嘆き、批判や諦観などもあり、さらには過去から未来のこと、それは、戦争体験や軍人恩給、子どもや孫の時代の年金制度の心配などもあり、いつの時代も同じであったのかもしれないが、多くの市民が、現在の社会にどの様に不安を感じているかは時の経過を待たなければならないのではないかと感じています。

このように、多くの市民の方々が、福祉・健康・教育・環境、そして老後などのたくさんの不安や心配をかかえながら生活をしているのではないのでしょうか。今後とも、このような様々な相談に、私自身も認識を新たにしつつ「傾聴」を基本姿勢とし、市民の方々が少しでも安心して楽しく過ごせることを願い、行政相談にあたりたいと考えています。



ショッピングシティベルで開設している相談所風景

行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例



龍神 和夫
(貝塚市)

(委員意見の要旨)

平成27年2月、空き家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、多くの方々が家屋を撤去したが、そのことにより、現行住宅用地であったものが、非住宅用地となり、固定資産税が増大し、低所得者層の生活困窮者は困惑している。

国は低所得者層に対して、老朽空き家の解体撤去後の土地に対する固定資産税の一定期間の支払猶予あるいは減免措置制度を確立する必要がある。

検討結果

固定資産税の税率を下げることは、市町村の判断により条例で定めることが可能であるところ、低所得者層の負担の軽減を図る観点から、全国には、その減免措置要綱を定めた上で、数年間の減免期間を設けている先行事例があり、また、国土交通省では複数市町村の「空き家等の除却跡地等の固定資産税の減免事例」を公表するといった取組が行われていることから、今後の推移を注視するとともに、総務省行政評価局の「空き家対策に関する実態調査」の参考として資料提供されました。



五島 常武
(大阪市旭区)

(委員意見の要旨)

知的障害者に交付される療育手帳は、都道府県、政令市ごとに認定区分、判定基準及びサービスが定められているため、その認定区分等が区々となっており、転居をすると療育手帳の再交付の手続が必要になり、知的障害者及びその家族の負担となっている。

平成25年4月に施行された障害者総合支援法では、知的・身体・精神の各障害が同じ法律で扱われるようになったにもかかわらず、知的障害者に対する判定、サービスが都道府県、政令市ごとに行われるため差異が生じていること、また療育手帳が全国统一して使用できないことから、是正してほしい。

検討結果

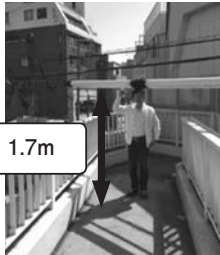
本意見については、①同様の相談事案が全国的にみられ、厚生労働省でも自治体及び国民から同様の意見・要望を受け付けていること、②療育手帳制度は、各自治体が個別に運用している制度であるため、全国统一のものとした場合、現在、手帳の交付対象とされている者が交付の対象外になる可能性があり、統一化は難しいと考えられるが、平成22年に総務省から厚生労働省に対し、発達障害者に対する療育手帳の交付について通知を行っており、同様の行政相談があった場合には、必要に応じて厚生労働省に情報を提供するとしていることから、厚生労働省に対し情報提供が行われました。

委員活動を通じて得られた意見を行政運営の改善に役立たせる貴重な手段！



平成30年度における大阪府内の委員意見の提出件数は26件でした。提出された委員意見は総務省行政評価局の幹部会で報告され、必要に応じて局所、本省の順に関係機関等に意見聴取や実態調査を行い対応方針の検討を行っています。

●委員活動報告から

相談のあらまし	措 置 状 況	報告委員
横断歩道橋の上の電線が垂れ下がっていて通る際に妨げとなり、接触し感電する恐れもあるので対処してほしい。	相談を受けた行政相談委員が現地を確認した結果を踏まえ、近畿管区行政評価局を通じ近畿総合通信局に電線を所有する各事業者を指導するよう連絡したところ、垂れ下がっていた複数の電線は、一部撤去及び高さ3m以上となる措置がとられ、法令の基準を満たし通行者の安全が確保されました。 (改善前) ⇒ (改善後)  	 三木 一誠 (大阪市福島区)
防災対策のため、河川や堤防道路の維持管理を十分行ってほしい。	相談を受けた行政相談委員が相談者や近隣住民とともに現地を確認し、その結果を踏まえ、管轄の土木事務所に対策を講ずるよう求めたところ、約2か月後に河川法面の草刈が行われました。また、その後河川の浚渫など各種の浸水対策が行われました。 (改善前) ⇒ (改善後)  	 池田 久雄 (大阪狭山市)
さびやひびが目立ち始めた鶴田橋を管理する機関がはっきりしない。	相談を受けた行政相談委員が近畿管区行政評価局と協働により、石津川の管理者である大阪府と地元の堺市との話し合いの場を設けるよう調整を図った結果、両機関の協議が進み、大阪府が鶴田橋の管理者であることが確認でき、老朽化に関する技術的な点検が行われ、予防保全の観点から、さびやひびへの対応が検討されることになりました。 	 富田 久子 (堺市西区)
通学路の側溝にふたがない箇所があり、児童・生徒が誤って転落する危険がある。	相談を受けた行政相談委員が現地を確認した上、道路管理者に連絡した結果、通学路の安全対策として、危険箇所にふたが設置されました。 (改善前) ⇒ (改善後)  	 今井 藤子 (貝塚市)

新任委員さん こんにちは!!

平成30年5月2日から令和元年6月1日までの委嘱委員さんからのひと言

氏名（担当区域）①趣味・特技・健康法等、②好きな言葉（座右の銘）、③最近印象に残ったことなど



うすい みやこ

臼井美耶子（大阪市都島区）

①趣味：府立高校の家庭科の教師をしていた経験から、料理をすることが好きです。少年補導協助力員として長年、中学生と関わりをもたせていただいておりますが、時折ふるまう手料理で彼等のこころを掴めたこともありました。

②辛抱は己の宝

（小学卒業時に校長先生が色紙に書いてくださいました）

③最近印象に残ったこと：Facebookを通じて友だちの輪が広がったことです。



さかもと やすとし

坂本安敏（大阪市浪速区）

①趣味：読書・ウォーキング

②人生死ぬまで勉強！

③これは無理かなと思う事がそこに踏み込むと、次の世界が見えてくる。



ひらの ゆうぞう

平野雄三（大阪市此花区）

これまでに、公職としてのボランティア活動の経験が無い中、この度行政相談委員の委嘱をお受けすることとなりました。未熟ながら、42年間の此花区役所勤務の行政経験を生かし、少しでも社会のお役に立てればと考えております。スポーツを観るのもするのも大好き人間です。近年は、年1〜2回のスキーと週2回のテニスを楽しんでいます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



みやがわ しげお

宮川成雄（大阪市住吉区）

日頃お世話になっております諸先輩方の推薦を受け、この度行政相談委員を拝命させていただくこととなりました。私も他の役職を多く兼務しており、逆に地域等に迷惑をかけることを危惧し、委員の受諾を強く固辞しておりました。しかし多くの皆さんからの説明を伺い、こんな私でもお役にたてることがあるのならと考え、受任させていただくこととなりました。たいした働きはできませんが、誠心誠意できることをさせていただきます。



みわ じゅんぞう

三輪淳三（大阪市中央区）

①趣味：美術鑑賞
健康法：ラジオ体操

②大丈夫

③世の中あわただしくて、もう少しゆっくりならないかな？
ゆっくり相談委員をさせて頂こうと思います。



たきがわ あいこ

瀧川愛子（大阪市平野区）

①家庭菜園、旅行、寺社巡り

②「初心忘るべからず」

③今生きている事に感謝し、人のつながりを大切に色々な事にチャレンジしたい。又、「苦情は宝なり」しっかり聴いて対応ができる様に努力したい。



ひぐち こういち

樋口浩一（大阪市東淀川区）

①趣味：ウォーキング

健康法：「1日1万歩」

②「信心の智慧」「智慧の念仏」

③初孫が「じいじい」と言ってくれる電話の笑い声



わたせ まさゆき

渡瀬正幸（能勢町）

①趣味：ドライブ、車が好きで旅行は必ず自家用車でいきます

健康法：寝ること

②努力は必ず報われる

③平成から令和に変わり、伊勢神宮に参拝、多数の参拝者でした



いしだ かずみ

石田和美（大阪市東成区）

この度行政相談委員委嘱にあたり、大阪合同庁舎にある近畿管区行政評価局にて活動の内容を聞かせていただきました。「あし33号」を拝読し、恥ずかしながら、長きに渡り活動されていることを知り、とても感動いたしました。これから一つひとつ勉強しながら、お役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



はら

原 さつき（吹田市）

①趣味：神社仏閣巡り（ご朱印集め）
古典・歴史文学、モラ手芸

健康法：ラジオ体操

②継続は力なり

③隈研吾氏設計「富山市ガラス美術館」の美しさと実用性のバランスに感動しました。



なかた とおる

中田 徹（大阪市鶴見区）

①趣味：野球観戦、散歩

②忍耐 一歩さがって穏やかに

③鶴見緑地に近年外国の方々がたくさん見学に来られる。
委員になって人々が相談しに来られる。



かしま さおり

加島早織（茨木市）

①日本茶が好きです。堅苦しいものではなく、どうしたら毎日おいしく飲めるかを模索中。知らない街で新しい発見をしたり、スポーツ観戦、パン屋さん巡りなど、なるべく徒歩で行動し目指せ年間300万歩！

②人との出会いを大切に。

③先日、友人とバスツアーデビューしました。



かさはらまさよし

笠原政芳（大東市）

- ①趣味：ストレス解消として、競馬とスポーツジム通いを少々
- ②何事にも自然体で「一期一会」
- ③昭和、平成から令和へ、二度目のオリンピック、大阪万博、平和と繁栄に期待します。



かわさきむつこ

川崎睦子（東大阪市）

- ①趣味：絵画を鑑賞すること
健康法：母校の合唱部OBで結成している合唱団に当時部員ではなかった素人の私が潜り込んだものの、練習で音を外してはいつも冷や汗！でもお陰でとても元気です。
- ②大切なのはどれだけ多くのことをしたかではなく、どれだけ心(愛)を込めたかです。
- ③ラグビーワールドカップ試合会場「花園」へのアクセス道路が整備され、市民生活の向上や経済発展にも大いに貢献しそうです。



たまやえいこ

玉宅英子（富田林市）

- ①趣味：ガーデニング・茶道
健康法：ヨガ（時々）・映画鑑賞
- ②継続は力なり
- ③この連休に京丹後市の夕日ヶ浦温泉に家族と出かけまして、日本海の荒海と地平線に沈む夕陽に感動しました。



つぼもとなおこ

坪本直子（河内長野市）

- ①趣味：フラメンコ舞踊。10年以上になります。5歩進んで4歩下がるペースです。先生の限りの優しいで、何とか続けています。
- ②心情としている事：「日々、淡々と…」
- ③印象に残った事：今回の委嘱に伴って、委員のみな様方に支えられて日常生活が改善されるのだと知りました。今までに知らなかった新しい世界が広がりました。どうぞよろしくお願いいたします。



おくのよしひで

奥野佳秀（羽曳野市）

- ①趣味：ドライブ、ツーリング、サイクリング、スキー、国内外旅行、園芸、家庭菜園、ペット（犬・鳥・魚など）飼育&繁殖、DIY（木工・鉄工）etc. “多芸は無芸”（ハ）
- ②人間万事塞翁が馬（ポジティブシンキング）
- ③久しぶりの北海道へのスキーツアーで、道中とゲレンデの雄大な景色に改めて日本の自然も捨てがたいものがあることを実感。半面、現地での生活の苦労も想像してしまいました。



こばやししゅうじ

小林周二（羽曳野市）

- ①趣味：家庭菜園を楽しんでおります。
健康法：ジムに通い、健康管理に努めています。
- ②一期一会
- ③平成から令和になり、時の流れを感じています。



はきはらひろし

萩原宣志（羽曳野市）

- ①趣味：バイクツーリング・スキューバダイビング・ドライブ
- ②主体的に明るい面を見ての“楽観主義”
- ③羽曳野市を含む、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産の登録が7月にも叶おうとしている。今後の巨大古墳に眠るのはだれか、などの具体的な調査が許される範囲で解明されることが期待される。大阪で初めての世界文化遺産で、古墳時代の遺跡が話題となり、南大阪地域への交流が、令和の新時代に世界に広がることが大いに楽しみですと祝いたいものです。



にしやまゆうこ

西山祐子（大阪狭山市）

- ①趣味：ウォーキングを兼ねた御朱印巡りを始めました。
健康法：ヨガ
- ②無理せず一歩ずつ
- ③最近の自動車事故のニュースを見て、ハンドルを握る責任、少しの油断も禁物だと改めて実感しました。



しおじりはるお

塩尻春夫（堺市西区）

- ①趣味は家庭菜園とテニスです。
健康法はとにかく、身体を動かすことで時間があればスポーツジムに通っています。
- ②好きな言葉というか信条にしているのは、「一期一会」です。
- ③最近の出来事で印象に残っているのは、自動車事故による幼い子供を含む若い世代が被害者になり、尊い命が奪われていることです。この原因には、いろいろ考えられるが、ドライバーのモラルの低下や私も含め高齢化による身体能力の低下等が考えられます。運転免許証の返納も真剣に考える今日この頃です。



にし の ふさお

西野房男（堺市北区）

- 「久しぶりの一年生です」
一昨年から地元神社の「ふとん太鼓」奉納行事の取りまとめ役を賜り、2年間祭り関連の日々を過ごしてまいりました。昨年末で後任に引継ぎ、急に暇になったと思っていたところに、お誘いの声がかかり今までに経験のない事をするのもいいかなとお受けいたしました。委嘱を受けた皆さんの資料を頂き皆様の経験をお聞きし、だんだんと相談委員の職責の重みを感じているところです。5月22日に初めての相談受付を行います、さーどうなることやら？



たなかいつこ

田中五都子（堺市美原区）

- ①趣味：旅行（特に一人旅）・読書
- ②ありがとう
- ③平安時代から続く祇園祭！山鉦巡行について映像を見ました。「豪壮かつ華麗な祭」の、一ヶ月間の神事・行事、山鉦のいわれ、芸術性、装飾品、タペストリー、文化遺産としての価値など次々と興味が湧きました。



もりぐちかつみ

森口勝巳（泉大津市）

- 40数年泉大津市職員・再任用職員として奉職してきて、やっと行政関係から解放され、4月以降は退職前に赴任していた池上曾根弥生学習館の運営補助ボランティアとして子どもたちの相手をしたり、趣味の船釣りを気兼ねなくできるとホッとしていた矢先、行政相談委員の委嘱の依頼がありました。当初は強く固辞していましたが、長年お世話になった泉大津市からの要請や諸般の事情などを考慮した結果、やむなくお受けすることになりました。行政相談の改善と市民生活の向上に、これまでの行政経験を生かして若干でもお役に立てればと考えております。



たにやまとしお

谷山俊夫（阪南市）

- ①趣味：地元の漁港に係留しているマイボートで大阪湾での船釣りを楽しんでいます。昨シーズンは、太刀魚が異常に大漁でした。
健康法：犬と朝夕の散歩
- ②一期一会
- ③小学校で昔の遊び体験として、コマ廻しや竹馬乗り等の遊びを一緒におこなった時、子ども達の夢中な姿に幼少の頃を思い出しました。



地相協研修会 「大阪ガス泉北製造所第二工場の 見学に参加して」

編集委員 阿部 多美江



アヤマハナサク
は「菖蒲華」気掛かりだった暑さもさほどではなく、むしろ気温は低め、過ごし易い見学日でした。参加者は委員91名、局職員7名でした。

府内4か所「梅田・合同庁舎前・天王寺・南海泉大津駅前」に分かれ、施設の見学もバス単位で下記の3つのゾーンを巡り、参加者の無駄な待ち時間のロスも無くスムーズな学びの日となりました。

- ①映像や演劇を用いて化石燃料の変遷、天然ガスの事、省エネルギー、リサイクルの大切さを理解するゾーン
- ②液化窒素を使った楽しい冷熱実験、炎色反応・輻射伝熱・パスカルの原理など化学の不思議さを参加型展示物で体感できるゾーン
- ③広大な製造所をバスで回るゾーン

※上記については順不同で感想を記しました。大阪ガスグループの都市ガスの提供状態は、近畿2府4県の約722万戸で年々増加の提供となっているが、販売量は2011年をピークに減少傾向にあるとの事、こんな処にも「核家族化」と「少子高齢化」の影響を感じました。都市ガス提供は泉北と姫路の製造所で其々70%、30%分担しているそうです。

1971年10月稼働の「第一工場」と1977年8月稼働の「第二工場」が内海を挟んで隣接し「LNG海底連絡管」で一体運営されている都市ガスは

泉北製造所が稼働する1970年代までは石炭を原料にした石炭ガスやナフサ・ブタン等を改質したガスが使われていた。その後中東・東南アジア等から輸入した「LNG」を気化した天然ガス及び国内で産出される天然ガスに液化石油ガス「LPG」を混合して熱量調整した「F13A」とよばれる規格で販売されるようになり、昔関西地区で見られた超大型都市ガスタンクが姿を消しました。

総面積73万㎡、南北2.3kmと細長く中央には2.1kmの直線道路が貫通している施設をアテンダントの女性の案内でバスに分乗、栈橋に停泊中のLNGタンカーの大きさに圧倒されました。津波対策は勿論、液化LNGが全量漏洩した場合に周辺への漏出を防止する「防液堤」の少し低い北側の「金属二重殻式LNGタンク」ヤード、南側の「PC-LNG」ヤードは初期の欠点を改良した「貯留槽本体」と「防液堤」のスペースが不要でPC防液堤も高く、敷地利用まで効率よく設計されていて感服しきりでした。

有意義な夏の午後を、企画から準備と当日の会場への誘導等のお世話に改めて研修委員の皆様にご心より御礼申し上げます。



研修委員会

研修委員長 掛川文子



研修委員会では、2018年二回の委員会を開催し、今年度は施設見学の予定年であるところから、関西のライフラインを考えてみようということで、6月29日(金)「大阪ガス ガス科学館」(高松市)を実施しました。

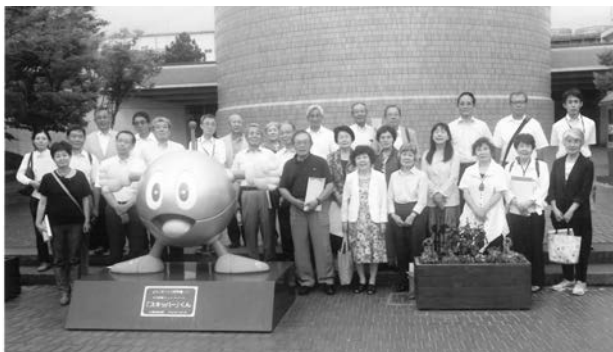
大阪府内4か所に集合してバス3台での見学となりました。バスでの移動ということで、心配されていた混乱もなくスムーズに終了することができました。これもひとえに参加者98人の皆さまのご協力と評価局の多大なご協力いただいたお陰と感謝申し上げます。沢山の参加ありがとうございました。

私たちは、日常は当たり前すぎてあまり意識していませんがひとたび災害が生じると多大な影響があるライフライン（特にガスや電気）は、何処から来ているのか、あまり知る機会也没有せん。

この度、ガス科学館を見学させてもらい、頭書の疑問が少し理解できたと思っています。

地球環境に優しい天然ガスとして東南アジアやオーストラリア、中近東、ロシアなど世界各国から輸入されており、 -160°C で液化された天然ガス（LNG）は専用船で日本まで運ばれ、そのままLNGタンクに貯蔵されています。広大な敷地にいくつものLNGタンクが並んでいるのも圧巻でした。その後、海水で温めて気化してから都市ガスとして地球をほぼ一周半するパイプラインで近畿2府4県に供給されているそうです。

今後も研修委員会では、私たちの生活に関連した問題をテーマに取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。



編集委員会

編集委員会副委員長 松 浦 隆 行



編集委員会では、毎年3月に第1回の委員会を開催してその年度の機関誌「あし」の編集方針を話しています。機関誌の顔である表紙は、毎号各支部の編

集委員が順番に、その地域の印象深い「橋」の写真を選んで掲載することになっています。（「川で隔てられた兩岸を結ぶ」という機関誌の意味合いでしょうか。）担当となった支部の編集委員が、ほとんど自分で足を運んで撮影しています。結構苦労してアングルなどを決めています。

編集委員会では、機関誌「あし」を大阪の行政相談委員全員の「広場」とするために、特定の支部や委員に偏ることのないよう、できるだけ多くの皆さんに広く原稿をお願いすることとしています。

毎号一番の議論になるのが、特集企画のテーマを決めることです。前年度の33号は「心に残る人」を特集テーマにしましたが、集まったどの原稿も人生の道程で知り合った人たちとの思い出を語る、非常に心に残る企画でした。34号は新しい年号を迎えるにあたって、それぞれの委員の皆さんにとっての「平成という時代」の振り返りをテーマにしようということで「私の平成」とすることになりました。

また、委員の皆さんに一言感想を書いていただく「ショートショート」では、前号に引き続き「最近読んだ本」にしようという意見もありましたが、テーマは新しくしようということで、「最近みた映画」にすることに落ち着きました。

このように様々な意見を出し合いながら、皆さんの手元に34号をお送りすることができました。

最後に一言。皆さん、原稿依頼がありましたら、「宝くじにあたってラッキー」と思って、今後とも積極的なご協力をお願いします。

相談業務委員会

相談業務委員会副委員長
足立 義昭



相談業務委員会では平成21年10月から「暮らしと行政なんでも相談」を開設しています。会場開設までの動きをご紹介します。

会場候補地は、毎年、大阪府内の各地区の行政相談委員の方々より紹介いただき、相談業務委員会で検討を重ね、現地下見の後に会場として決定しています。

来場者にとって交通の不便なところではないか。法律、税金など各相談テーブルや待合椅子等が必要数設置できるのか。会場内に横断幕やノボリ、行政相談DVD視聴用のモニターテレビが設置等可能か。主会場以外に委員等の控室は確保できるのか。広報物品や会場設営備品の搬入保管場所の確保ができるのか。開設日の一週間前と当日に会場周辺で広報活動が可能か。以上が大まかな検討事項です。

会場が決まれば相談内容と相談を受けていただく先生への出席要請、広報委員会と事前広報の打ち合わせ、広報物品の手配、広報活動の参加人数と場所の決定などを行っています。これ以外に、各市町村へのポスターの配布や後援依頼申請、さらに細かい打ち合わせを何度か重ね、細部を決定して本番をむかえています。

平成30年度は、広報委員会及び北摂支部と連携し、11月8日(木)に事前街頭キャンペーン及び11月16日(金)にグリーンホール（箕面市立市民会館）において、「暮らしと行政なんでも相談」を開催しました。



広報委員会

広報委員長 羽田清彦



平成31年度の広報委員会開催は3回を予定しております。第1回は4月22日に行いました。令和元年度行政相談委員全体会議及び大阪行政相談委員協議会総会議案にある、平成30年度活動

実績（決算含む）と令和元年度事業計画（予算案を含む）等々の委員会提案を議案としました。新年度より当委員会に3名の仲間が加わり、11名での委員会出発となりました。昨年度の3名の委員の方々には様々なお支えを頂きこの場を借りて感謝と御礼を申し上げます。

まず、副委員長の選出では、局の方のアドバイスを頂き、出席委員の賛同を得てスムーズに承認を賜りました。事業計画での大阪地相協との協働、及び同協議会に対する支援、全体街頭キャンペーン、各支部街頭キャンペーン、行政相談出前教室・出前講座の実施、毎年度議論ある広報物品の作成についても、委員各位の闊達な提案を頂きながら局の適切なアドバイスを参考に、議案事項を決定した所です。予算に付きましても多くの啓発品の量（賛同者、参加者の増加）が発生するため、また啓発品の質も確保する配慮を頂いた予算配分に感謝する次第です。集中的な広報活動は、担当委員はもとより各委員が参加機会を得られる様に、また事業活動の更なる深化を図り、行政相談制度及び行政相談委員制度の周知度を高め成果を全国に発信すべき大阪地相協の一翼を担う委員会として活動していきたいと考えております。評価局行政相談担当職員の皆様方、全ての行政相談委員の方々のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



ホームページ運営委員会

ホームページ運営委員長
三田和夫



従来ホームページ運営委員会は各支部から選出された12名と、特別アドバイザー2名を加えた合計14名で構成されていましたが、令和元年に当委員会は18名に拡大を認めていただきましたので、今後より一層ホームページ・フェイスブック・ツイッター編集技術の継承拡大を図っていきます。

大阪行政相談委員協議会は、委員の皆様から頂いた行政相談委員活動報告をホームページ・フェイスブック・ツイッターに掲載して情報発信をしています。これらはホームページ運営委員会所属の委員により編集作業と運営を行っています。

今、働き方改革のためオフィスで仕事をするのではなく、インターネットで繋がれた自宅で仕事をするというテレワークを導入している会社が増えています。当委員会でも編集に当たってはドロップボックスというソフトを利用し、複数の編集担当者が自宅で各自のパソコンを使ってインターネット上で編集作業をするという画期的な方法を採用しています。

また、行政相談委員活動に役立つパソコン技術を習得する目的で、行政相談委員であれば誰でもご参加いただけるパソコン勉強会を毎月開催し、ワードの操作、メールの操作、写真画像の加工、スマホ操作等を学習しています。興味のある委員は、是非パソコン勉強会にご参加下さい。



男女共同参画委员会

男女共同参画委員長 岩井利春



男女共同参画委員会は、誰もが活躍できる社会を目指し、女性の社会進出に伴う様々な問題、男性社会との確執などについて、自身の体験や現実社会の現状等について話し合います。また、自己研鑽を高めるための研修会への参加や各団体等との懇談会を通じて、より多くの方々に男女共同参画社会を実現し得るよう啓発活動を行っています。

男女共同参画施策の一端として、合同行政相談所等において男女共同参画コーナーへの出席、近畿管区行政評価局が大丸心斎橋店南館で開設している「大阪総合行政相談所」において毎月2回「男女共同参画に関する相談」に相談員として対応に当たっています。

昨年度は、男女共同参画の現状を周知する
うで「男女共同参画の現状～経営戦略とし
ての女性活躍推進へ」をテーマとして研修会
を実施しました。

今後も男女共同参画社会の実現に向けて微力ではありますが、委員会が一丸となって相談活動、情報収集、研修会への参加等積極的に邁進していきたいと考えています。



大阪第1支部 — 竹中大工道具館を訪ねて —

米田 道 孝 (大阪市城東区)



平成30年9月27日(木)、大阪第1支部研修会で「竹中大工道具館」(神戸市中央区)を訪れました。局からの参加者2名を含めて21名が参加し

ました。

この大工道具館は竹中工務店の創立85周年を記念して昭和59年に開館した日本で唯一の大工道具の博物館です。神社仏閣をはじめとする日本の伝統建築文化を後世に伝えていくために大工が建物を建てる時に使う道具や強く美しい建物をつくる木の加工、組み上げていく技術など日本人ならではの美意識や心遣いを大工道具から見るすることができます。

仏教が中国から伝来する中、多くの文化や技術などが日本に伝えられました。大工道具もその一つで歴史や種類、しくみが体系的に展示紹介されています。日本の建築様式に見られる「伝統美」や「手仕事」が大工や左官の職人技と道具を通して独自に発展してきたことを学ぶことができました。帰路の途中、酒どころ灘五郷にある「酒心館」に寄り、伝統と革新の酒造りの説明を受け日本酒の文化に触れ無事家路につきました。



大阪第2支部 — 大阪管区気象台を訪ねて —

檜 原 實 男 (大阪市浪速区)

※平成31年3月退任



平成30年度の大阪第2支部自主研修会は平成31年2月13日(水)、大阪合同庁舎第4号館の大阪管区気象台へ見学に行き、その後、近畿管区行政評価局会議室で事例発表を行いました。支部

会員18名の参加のほか、近畿管区行政評価局から水上局長をはじめ4名の職員が参加されました。

第1部 大阪管区気象台の講座・見学

初めに、気象庁の業務について大阪管区気象台業務課広報係長からお話いただき、続いて、担当の方が交代されながら地震・津波・火山の監視業務、気象の観測、監視・予測業務についてご説明いただきました。

その後、大阪管区気象台職員の皆さんが実際に働いている現業室を見学させていただきました。現業室では、モニター周辺に集まって天気図のようなものを見ながら話し合っていたり、自席でパソコンを注視していたりと職員の方々はとても集中しており、見学者も気にならない様子でした。見学時には、日本の地形について勉強されている春元支部長がモニターを見ながら案内係の職員に熱心に質問されている姿も見られ、皆さんにも楽しんでいただけたのではないかと思います。

第2部 事例発表・昼食会

気象台の見学終了後、近畿管区行政評価局の会議室に移動し、事例発表が行われました。今年度は平野区の天野治委員が発表の当番でした。春元支部長、水上局長のあいさつの後、天野委員のスライドを用いた発表では、ご自身の担当する平野区喜連での事例を3件紹介されました。

終わりに行政相談課長から講評をいただき、事例発表終了後には昼食会が開かれ、参加された皆様と親睦を深めることができました。



北摂支部

―障がい者雇用率100%目指す ダイキンサンライズ摂津にて―

中谷久夫（摂津市）



平成30年11月21日(水)、総勢33名の参加のもと、摂津市で平成30年度北摂支部自主研修会を開催いたしました。

第一部は市立コミュニティプラザにて事例発表及び質疑応答。

第二部は(株)ダイキンサンライズ摂津にて現地視察及び事業説明を受けました。サンライズ摂津は93年(株)ダイキン工業・大阪府・摂津市等が出資し「障がい者が主役の会社」を目指し設立されたものです。現在146名の障がい者の方と健常者の方19名が働いておられるとの事。主な業務内容は(株)ダイキン工業関連製品の組立・修理・製造で、驚かされたのは障がい者が働きやすいバリアフリー化された広いスペース、整理整頓された資材や部品類、随所に見られるミスを無くすための工夫、特に皆さんが生き生きとした表情で働いておられるのが印象的でした。

第三部はコミュニティプラザにて参加者による懇親会を開催、皆さん研修会の意見交換や日頃の業務内容と言った話題で懇親を深めて頂いたようで、その場の雰囲気もかなり盛り上がっていたように思います。また、行政相談課長から今回の研修会を評価して頂いたことを大変嬉しく思っております。



河内第1支部

―「わが国の防衛について」―

川西勝久（四條畷市）



平成30年11月12日(月)、四條畷市役所内に於いて、河内第1支部自主研修会を開催。「わが国の防衛について」と題し、自衛隊大阪地方協力本部・矢野泰人東北

地区隊長より講演頂きました。近年、北朝鮮の核開発と、それに伴う弾道ミサイル等の発射が繰り返され、また、中国は東シナ海と尖閣諸島周辺海域や、南シナ海への海洋進出に力を注ぐとともに、一方的な防空識別圏の拡大も図りつつある。ロシアも軍の近代化や活動を活発化させるなど、日本周辺の国際情勢は急速に変化している。また、国内に在っては災害対策、都市に集中する人口問題と社会的基盤への対応。原子力発電所の安全対策など大きな問題を抱える中で、自衛隊の役割は増大し、その期待も益々大きくなっている。この責任を果たすため、日々弛みない研究と訓練に励み、その使命を果たして行きたいと話された。その他、現在の自衛隊の戦力や装備等についても詳しく聴くことができました。また、事例発表は、門真市の角咲子委員からは、門真市の行政相談概要を始めその取り組みなどを発表。四條畷市からは「一級河川に架かる橋上駐車車両の対応について」の事例発表があり、充実した研修会となりました。



河内第2支部 — 稲むらの火に学んで —

加 茂 守 — (東大阪市)



平成30年11月28日(水)、河内第2支部では地震などの防災意識が高まる中、和歌山県有田郡広川町にある防災教育施設「稲むらの火の館」を訪れました。

河内第2支部のメンバーと局からの皆さん総勢22名で研修会場に向かいました。

館長から「稲むらの火」についての講演を受けて「安政地震津波の襲来時、稲むら（ススキや稲束を積み重ねたもの）に火を放ち、この火を目印に村人を誘導して多くの命を救った」というお話でした。

今、多くの自治体では防災ハザードマップを作成し住民に配布されています。

それに目を通し、実際に街を歩いて安全な避難経路を確認しておくことが大切だと改めて考えさせられました。

講演後、展示パネルを拝見し、濱口悟陵の指揮で築造された広村堤防（高さ5m、幅20m、長さ600m）を見学しました。

その後、湯浅醤油の工場を見学しました。

研修会修了後、全員で食事を摂りながら研修会の感想、意見交流、各地域の情報交換をし、有意義な時間を過ごすことができました。



泉州支部 — 神戸ポートピアホテルと 神戸税関を訪ねて —

吉 田 幸 代 (高石市)



平成30年10月30日(火)、泉州支部自主研修会が総勢28名（行政評価局職員2名、和泉市職員2名）の参加を得て実施。全員バスにて神戸ポートピアホテルと神戸税関を訪れました。

・ 神戸ポートピアホテル

神戸のランドマークホテルである神戸ポートピアホテル。「地球環境にやさしいホテル」を目指しているとの事。ゴージャスで清潔感のあるホテルでの「ゴミ」について、担当者から地下室の現場にて説明を受けました。

一日に出るゴミの量は30tと膨大なもので、その処理方法は、ホテルのバックヤードにある塵芥処理室より分別され、ホテル内で圧縮機にかけ、市の処理車で運び出されます。また、客室に残された遺失物にも配慮がなされ、一定期間保管されている等、環境に配慮し、安心と信頼が大事なホテルですが、そのバックヤードの努力には驚くばかりでした。

・ 神戸税関

神戸の港を守る業務内容について担当者より説明を受けました。展示室には情報シアターゾーン、展示室ゾーン、プレイ体験ゾーンが設けられ、税関の管轄区域や歴史を紹介、密輸の手口やコピー商品、ワシントン条約など、また、ブランド品のにせ物を見分ける鑑定にもチャレンジ。

屋上よりミナト神戸の景観も楽しみ、少し暖かい日ざしの日、有意義な研修を終えました。



谷口 裕 洋（大阪市東成区）



私の平成は、思い返すと大阪市青少年指導員の委嘱から始まり、現在の行政相談委員に至るまでの「地域住民とかかわりのあったボランティアの日々」でした。

地域子ども会の運営委員と

なり、青少年の健全育成という形の地域の子どもの付き合いから始まりました。地域のふれあい祭り・敬老大会・もちつき大会など子どもからお年寄りまで、一体となって地域の活性化を図る行事等をしてきました。今では、成人の日の式典で当時の子ども会のメンバーが私に声をかけてくれることがとても嬉しいです。平成15年には体育指導委員の委嘱を受け、生涯スポーツ振興に努めてまいりました。なかでも、ふうせんバレーボールでは車いすの人・知的障がいのある人・お年寄りの方々が一緒になって楽しく遊ぶことができ、また話をする中でよりお互いを理解することができました。平成25年には保護司の委嘱を受け、再犯をなくし、社会復帰をするための更生保護活動にも参加しています。学校生活に戻ったり、社会人として復活したりと、皆さん頑張っています。平成29年に行政相談委員の委嘱を受け、阪神大震災や台風などの自然災害の被害を身近に受け、私が今まで見過ごしてきた危険な箇所を無くし、子どもたちやお年寄りの方たちが安心して生活できる環境づくりについて考えるようになりました。また、体育厚生協会の一員として、区民体育祭やハイキングなど各種スポーツ大会の主催など、区民の健康増進の取り組みにも力を入れていきたいと考えます。平成30余年も終わり、新しい時代を迎え、少子高齢化社会の中でいかにして安心・安全で、健康で楽しい社会にするか、頑張りたいと思います。

山下 保 一（住吉区）



平成5年の北海道釧路沖地震に始まり、平成30年の大阪府北部地震まで平成時代には多くの地震が日本列島を襲いました。平成7年の阪神淡路大震災は、活断層による直下型地震で京阪神地区、

特に神戸市は甚大な被害を受けました。そして平成23年には、M9.0の東日本大震災には日本人はもとより、全世界の人々を震え上がらせました。実は阪神淡路大地震発生後10件目の地震が東日本大地震でその6年間には鳥取西部地震、十勝沖地震、宮城内陸地震など、M7以上の地震が9件も発生しています。M6.1と比較的規模の小さかった大阪府北部地震についても、わが大阪には地震は無いと思っていただけに大きな衝撃を受けたのは私だけではないと思います。東日本大地震は特に津波による大きな被害を受け、今もお原発の廃炉や汚染水対策に困難な作業を強いられているのが実情です。日本のみならず、全世界の人々が心配しています。

私自身の「平成」の思い出として、確かに自然災害の洗礼を受けた30年間だと実感しています。先に申し上げた地震はもとより、台風による大雨の被害も数多く発生しました。

中でも、私は職業柄、防災業務に携わることが多く、平成23年9月に奈良県南部および紀伊半島を襲った台風12号については、那智勝浦町の山間部で大雨による河川の氾濫が起り、多くの尊い人命が奪われました。国の文化財を沢山所蔵する熊野那智大社も例外ではなく甚大な被害を受け、裏山から大量の土砂が境内を埋め尽くしました。

この復興作業には約3年を要しましたが、私は社員ともども奮闘したことが思い出として心の奥深く残っています。

災害国日本には、常に防災、減災が叫ばれている現在、「令和」の時代には、少しでも自然災害が減ることを祈る次第です。

前川 順子 (豊中市)



平成が今日で終わるとい
う日にこの原稿を書いてい
る。TVでは連日平成を振り
返る番組が続く。世の中の
流れはさておき自身の平成
を振り返るきっかけを頂け

たことに感謝である。さて私の平成初期は子育ての記憶しかない。元年、3年、5年と立て続けに3人を産みギャング達と格闘時代だった。世の中の流れ、経済、トレンド、ブームが記憶から欠落している時代だ。昭和時代にバブルのど真ん中で働く20代の私は海外旅行や背伸びしたブランド品で武装し、滑稽な太い眉毛で消費時代を謳歌していた。男女雇用機会均等法施行後も、仕事に消費活動に勤しむ…からの子育てへの突入だった。私にとっての平成初期は社会からの隔離時代だ。

平成中盤以降は学校や地域社会、分館活動に
出会い積極的に参加してきた。前を進む先輩方
や仲間との繋がりには私に自己実現の喜びや達成
感、新しい発見を教えてくれ今に続く。平成後
期、それは私自身を超えていく我が子の嬉しい
旅立ちの時代であった。

私の平成時代、身体はしっかり老化したが、
心の成長期であったと思いたい。

さてこの連休中、開かずの納戸を整理すると
決めていた。夫の実家でもあるこの古家には捨
てられないモノが多すぎる。鑑定団にも出せない
程度の額絵、スキー道具、ゴルフのトロフィー
等、写真に収めて処分したが断捨離はかっこよ
くは進まない。厳選したモノを又丁寧に仕舞い
込み令和に持っていく。それもよし。

楠 好子 (寝屋川市)



元号が「平成」から「令和」
に改まりました。昭和・平成・
令和と三代を生きることとな
り、自分自身の年齢を感じぜ
ざるを得ません。

さて、私にとっての平成
をプレイバックしてみると、平成の約30年間で、
いろいろな出会いがありました。平成の前半は子
育て中でした。子供会、PTA活動などで知り合っ
た同じ世代の母親との出会い。今でも交流が続
いています。中ごろは地域でのボランティア、更
生保護活動などで、年長者からの心打つ言葉と
の出会い。また。同じ趣味を通して胸襟を開け
る友との出会い。後半は、老人会での活動や行
政相談委員を拝命し、様々な立場で活躍し、経
験豊富な方との出会い。これらの出会いが、私
を成長させてくれたことは過言ではありません。
私には秀でた才能も知識ありませんが、素敵
な出会いに恵まれ、出会った方々一人ひとりが
財産となりました。

平成の時代は、全国的に幾多の、しかも甚大
な自然災害に見舞われました。「当たり前」が揺
らぐ中で生きてきたように思います。生き方や価
値観が多様化し、時代が移り変わろうとも人と
人との結びつき（出会い）は、大事なのではな
いでしょうか。

「令和」の時代も、より一層、出会いを大切に
歩んでいきます。

仲谷 徳雄（河南町）



平成31年間のうち20年間は大阪府の職員としての思い出です。その間、私の職務に関係した大きな出来事が2件ありました。

①6,434人の犠牲者を出した阪神・淡路大震災

平成7年1月17日午前5時46分に発生した体験したことのない縦揺れの地震。バスと電車は動いていたので、通常通り出勤しましたが阿部野橋駅から職場の府庁までは徒歩1時間を余儀なくされました。私は府の対応策として設置された「大阪府住宅相談室」の責任者になり、被災者からの様々な電話対応に追われ休日出勤もありました。府の職員はもちろんのこと遠くは北海道からも応援部隊が来ていました。派遣された職員達は、西宮から徒歩で神戸に入り冬の寒空の下、公園のテントで外泊。様々な救援活動を通じて、この悲惨な大震災を身をもって体験しました。

②オウム真理教による地下鉄サリン事件

平成7年3月20日午前8時頃、霞が関を通る地下鉄日比谷線、千代田線、丸の内線の3路線5本の車内で発生した事件。私は事件の前年の3月まで2年間、不動産適正取引推進機構へ出向。毎日山手線の恵比寿駅から日比谷線に乗り換えて、霞が関の一つ手前の神谷町駅まで通勤。それも、事件のあった時刻の8時ごろ降車していました。その神谷町駅でも死傷者の方がおられ、もし出向が1年延長されていたらと思うと、帰阪後の事件だったことに人生の綾を感じずにはおられませんでした。

令和の時代には、災害・事件のない平和で明るい時代となることを望むものです。

川上 博（泉大津市）



平成の30年間、時代が変わったなと実感しています。昭和が終わりバブルがはじけても影響はさほどなかったですが、あの時土地を売っておけばが心残りです。

平成6年、関西国際空港が開港し、駅前再開発事業、道路事業が進み、まだまだバブルの余韻にひたっていました。

でも景気は回復せず、それからの財政難、人員削減、民間委託、事務事業の見直し、経費の削減がこれでもかと続き、ただ仕事に追われる日々でした。

格差社会に就職氷河期が到来し、少子高齢化に人口減少、晩婚化。子供たちの夢もなくなる。

平成21年泉大津市危機管理課に異動。花見の予定がテポドンでつぶれ、5月連休は豚インフル発生で新型インフル対策におわれる毎日。市内商店街の大規模火災。そして平成23年東日本大震災の発生。高台避難と放射能汚染など街がなくなる。今も続く先の見えない災害復旧は、危機管理の根底を覆すものでした。

平成は確かに生活が豊かになりました。でも高齢者を狙うオレオレ詐欺はますます巧妙化、悪質化。大企業も耐震偽装、検査数値改ざんで日本の誇りも地におちる。そういう時代が終わります。人の心をとりとどし、子供達が夢を描ける新しい未来「令和」に変わってほしい。



ショート・ショート【最近、観た映画】

寺本佳世子
(大阪市東淀川区)



1962年、天才黒人ジャズピアニスト、ドクター・シャーリーは、ツアー運転手に粗野なイタリア系白人のトニー・リップを雇う。2人は黒人用旅行ガイド「グリーンブック」を手に、人種差別が色濃く残るアメリカ南部へと旅立つ。彼らは衝突を繰り返しながらもお互いを認め合い、友情を深めていく。

映画『グリーンブック』は、シリアスな題材もコミカルに描かれていて、重苦しさを感じさせない。全体を流れる60年代の音楽が心地良く、爽やかな気分で映画館を出た。

水口 博司
(大阪市浪速区)



平成も終わりを迎えようとしている4月28日、ふと、テレビを点けると、横山秀夫の推理小説『64－ロクヨン』が放送されていました。昭和から平成へと変遷していく間に起こった被害者の苦悩と執着心、又、組織に対しての確執と戦う複雑な人間関係が折り重なった久しぶりに観た良い映画でした。私も世の中が、昭和、平成、令和へと、変遷して行く中で現在の自分が人に対して、どこまで出来るかを考えさせられる日になりました。

掛川 文子
(高槻市)



透きとおった海、桜のトンネル、若者は都会に出て行き、猫と高齢者が多い島、三河湾の「佐久島」をロケ地に世界猫歩きの岩合光昭が初めて監督をした『ねことじいちゃん』の映画です。

元教師のじいちゃんと飼い猫タマを取り巻く島の人間模様を描いた物語です。都会では見られなくなった親切と紙一重のおせっかいも親切として残っている。スーパーもコンビニもない島で魚や野菜のおすそ分けも日常的にあり、タマも港に行けば「タマや」と声をかけてもらい、魚がもらえる。しかし都会から来た医者若先生は、切り身しか見たことがないと、魚の目が怖いと逃げ回って笑わせる。

のんびりした空気と助け合い、やさしさ、温かさがあり、なんとも心の和む映画でした。

角 咲子
(門真市)



自転車ですぐの所に映画館ができたことで気軽に話題作品を観に行っている。

55歳以上はいつ行っても1,100円で観れるのも魅力である。5月の連休明けに『キングダム』を鑑賞した。

原泰久氏のベストセラーコミックを原作にした歴史ドラマである。

中国の春秋戦国時代を舞台に大將軍を夢見る少年と中華統一をもくろむ若い王の運命を映す壮大なスケールで展開される。新進気鋭の俳優山崎賢人と吉沢亮が迫真の演技で感動した。

又、歴史小説を手にとってみようと思った作品であった。

藤田 毅
(松原市)



まず、思い出すのが樹木希林主演の『あん』でした。希林さん存命の時、海外旅行に出かけた機内で見ました。美味しい「あん」を作る老女で元ハンセン病患者の役。「あん」のお陰で繁盛したドラ焼き屋が患者であることが明るみになると、客が遠ざかるというストーリーだった。美味しい物を作るという熱い思いを幾つになっても失わず、一途にやっていく姿に心を打たれた。また、風評被害というものは怖く残念なものだと思った作品でした。

竹中 千世
(阪南市)



伝説的ロックバンド「クイーン」のボーカリスト、フレディ・マーキュリーを主人公とする『ボヘミアンラプソディ』を見ました。素晴らしい作品でした。小さなパブで歌っていた彼等がイギリスを代表するミュージシャンになり、スターとして色々と経験していくと言うよくあるストーリーなのですが、フレディがゲイでありエイズ患者である事を告白し家族や仲間への愛を取り戻す所が感動でした。でも一番は劇中に流れる彼等の名曲の数々に胸を打たれました。



上方のお笑い—天満天神繁昌亭—

編集委員 藤本道昭

1. はじめに

大阪でお笑いといえば、「よしもと漫才劇場」が目につかびます。舞台では、漫才、落語、諸芸、軽演劇が見られます。

この吉本の漫才も、最初の笑いは、落語から始まったようです。東京は落語、大阪は漫才といわれています。

しかし、あえて上方のお笑いとして落語を取り上げることにしました。

(反骨精神、なんでやねん!)

なお、上方演芸の魅力を伝える大阪府立上方演芸資料館(「ワッハ上方」)は、2019年4月24日、新しくなってオープンしました。

2. 上方落語

上方落語は、江戸中期に京都や大阪の道端で舞台を設けて話した、辻ばなしや軽口が起源とされているような。

落語はどうかといえば伝統的な話芸の一種で、落ちがある、落とし噺ということらしい。下記の写1繁昌亭に行かれたら玄関横の石碑を読んでみてください。



写1 上方落語の由来

見台、小拍子、膝隠
出典：ウィキペディア



写2 3種の道具

上方落語の特徴は5種の小道具(手ぬぐい、扇子は共通ですが、上方の特徴は見台、小拍子、膝隠)があることです。

(音の強弱での場面転換はさすが派手な大阪や!)

3. 天満天神繁昌亭

2006年9月15日に、大阪で唯一上方落語協会が、上方落語専門定席を天満宮の敷地内に設けたのが最初です。今では、地域寄席(島之内寄席、田辺寄席など)も数多く見られます。

なお寄席では、落語だけでなく音曲、曲芸など色々楽しめます。

昼席公演に、なにぶん初めて見にいったものですから、開演時間をまちがえて結局1時間過ぎて入りました。ちょうどよい位の時間で、いい出し物を見ることができました。(これをつまみぐいといいます!)

昼席は、2/3位が埋まってました。前から4列目のほぼ真ん中の席へ、どうもどうもといいながら、大阪人ですから、かき分けて席に座れたのです。(アリガトサンです!)

なんとなんと終演後、落語家サンたちが、玄関でお見送りをしてくれるのです。

見送られるのは気持ちのいいものでした。



写3 演目終了後の見送り

4. おわりに

落語のまくらは、演者でそれぞれ異なり、性格が出ていて興味深いものでした。NHK朝ドラ「ちりとてちん」で落語ファンが増えたような。

笑えます! 笑えます! 笑いが止まりません! あなたも上方落語を聴きに足を運ばれることをお勧めします。

私の住む町

MY TOWN 茨木市



茨木市は大阪府の北部に位置し、高槻、箕面、吹田、摂津、豊能、京都府亀岡の5市1町に接しています。

昭和23年に、人口3万4千人、府内13番目の市として誕生、交通環境の利便性や豊かな自然環境など、恵まれた多くの魅力を生かして、人口28万を擁する市へと発展、昨年市制施行70周年を迎えました。

この間、財政再建団体に陥ったり、「政争の街」といわれた時代もありましたが、昭和42年の集中豪雨を契機とした「安威川ダム」の建設、市北部丘陵地での複合機能都市「彩都」の創出、新名神高速道路の整備、JR総持寺駅の開業、立命館大学茨木キャンパスの開設など、ビッグプロジェクトが進展し、名実ともに北大阪の中核都市として躍進しています。

わが町の数ある魅力の一つは、28万の人口を持つ都市でありながら、身近に豊かな自然が広がるまちであることです。

市歌に「ゴルフの丘も緑濃く」と謳われるように、4か所のゴルフ場が点在し、市北部の竜王山地区が大阪府立北摂自然公園に指定されるなど、美しい森林景観と豊かな里地・里山が形成されており、竜王山山頂の展望台からは、大阪市内、遠くは淡路島、明石海峡大橋まで一望することができます。

また、市の中心を南北に走る全長5kmの元茨木川緑地は象徴的な存在で、大阪みどりの百選にも選ばれ、桜の名所としても広く市民に愛され、利用されています。

茨木の地は、弥生時代の東奈良遺跡から大規模集落の跡や銅鐸鋳型が発掘され、当時の生産と流通の中心地であったこと、また、多種多様な古墳群が築造されるなど、古代から先進性と

村田 茂（茨木市）

大きな力を持つ地域であったと伝えられています。

中・近世においても、政治・経済・文化の要衝地として栄え、市域中部を東西に走る西国街道沿いの郡山宿本陣、北部山間地で近代に至るまで守り続けられてきた隠れキリシタンの遺物など、多くの貴重な文化遺産を有し、加えて、日本人初のノーベル文学賞を受賞した川端康成や「竹林の隠者」と称される富士正晴が暮らした地であることなど、世界に誇れる歴史文化のまちであることも大きな魅力です。

特に郡山宿本陣（別称「椿の本陣」、国指定文化財史跡）は、浅野内匠頭はじめ多くの西国大名や要人が宿泊し、当時の面影が今なお色濃く残されています。

一般公開の施設ですので、当主の苦労話など聞きながら、江戸時代の往時に思いを馳せてみては如何でしょう。

わが町の魅力のほんの一部を紹介しましたが、今茨木市は、「次なる茨木へ」を新たなメッセージとして発信しています。

令和の時代を迎えて、豊かな自然と誇るべき歴史文化を保存・継承しながら、多様なポテンシャルが活かされ、どのような魅力が創出されていくのか、楽しみなまちです。



椿の本陣



編 集 後 記

あし34号発刊にあたりご多忙の折、ご寄稿頂きましてありがとうございました。お礼申し上げます。

河野委員長からバトンを引継ぎ、元号も「平成」から「令和」にわたる経験を生かして微力ながらお役に立ちたいと思っています。編集委員も3名〔楠 好子委員（河内第1）、阿部多美江委員（河内第2）、川上 博委員（泉州）〕が新しく入れ替わり、委員一同和合のもと発刊することができました。

今回も特集として「私の平成」とショートショートに「最近観た映画」を、4回目を迎えた「大阪あれこれ」は、「上方のお笑い」一天満天神繁昌亭一を題し上方落語を紹介しました。皆様、上方落語を聴いて笑ってストレスを発散させてみてはいかがでしょうか。それと、最近高齢者ドライバーの「アクセル」と「ブレーキ」の操作ミスにより尊い命が奪われる悲しい交通事故が多発しています。皆様、注意しましょう。

最後になりましたが、事務局の和田様には大変お世話になり心より感謝申し上げます。

（矢倉芳彦記）

編集委員会コーナー

☆あし編集委員名簿☆

藤岡 晴美（大阪第1）
 松浦 隆行（ ） 副委員長
 藤本 道昭（大阪第2）
 西村 譲治（ ）
 神林 久子（北 摂）
 上田 文章（ ）
 交久瀬和広（河内第1）
 楠 好子（ ）
 矢倉 芳彦（河内第2） 委員長
 阿部多美江（ ）
 今井 藤子（泉 州） 副委員長
 川上 博（ ）

大阪行政相談委員協議会機関誌

「あ し」 第34号

発行日… 令和元年9月1日

発行所… 大阪行政相談委員協議会
 大阪市中央区大手前4-1-67
 大阪合同庁舎第2号館
 近畿管区行政評価局
 総務行政相談部行政相談課内
 電話(06)6941-8358(直)
 FAX(06)6941-8988

URL <http://osaka-gyouseisoudan.org>



困ったら一人で悩まず

行政相談



Hello Kitty
©1976, 2019 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No.G000086

行政相談マスコット
キクーン



社会福祉 医療保険や年金 道路や公共施設 役所の手続き のことなど、お気軽にどうぞ。

ご相談は、お近くの行政相談委員へ。または、下記の番号まで。

総務省行政相談センター

お こま り な ら ま る ま る くじょー ひゃくとおぼん
まくみみ 0570-090110

インターネットでの相談受付もOK ▶ 行政相談受付



相談無料・秘密厳守



総務省・各府省行政苦情相談連絡協議会